

2月27日 J A 北九  
遠賀堂農センターで  
「地域ぐるみで  
鳥獣被害を防止する  
研修会」が開催されました

今回のテーマは  
カモやヒヨドリなど  
鳥害について…



会場  
いっぱい！

参加者は  
農家や猟友会  
県市町、J A 北九



まずは敵(鳥類)を  
知ることが重要です

長岡技術科学大学  
山本麻希先生



鳥害防除のまとめ

低↑  
コスト  
↓高

	物理的	心理的
効果低	テグス	忌避具
効果高	ネット	追い払い 捕殺

高←→低  
持続性

カモは夜  
エサを食べます

でも暗くて目が  
見えないので  
ネグラ近くに  
エサ場にします

圃場の近くを  
カモのネグラに  
しない対策が  
有効！

ネグラに  
ならないように  
河川にテグスを  
はった芦屋町の  
事例：

日本に飛来する  
カモは年間  
150万羽

捕獲による  
個体数の  
コントロールは  
多すぎて無理！

ただし猟友会による  
捕殺によって  
「人間は怖い」と認識  
させる事は有効

農業者が  
オレンジの  
帽子やベストで  
猟友会に擬態する  
例もあります

ヒヨドリなどの  
小鳥は対策が  
難しいですね

なぜなら  
一日食べないと  
死んでしまうため  
食事に対する  
執着心が高い

「餓死する  
ぐらいなら」と  
多少危険でも  
突進してきます

鳥獣害対策は  
個人ではなく  
地域ぐるみの  
取組が有効ですよ！

管内で増加している  
鳥害に対する  
対策のヒントを  
たくさん  
もらいました

ナレホドリー

